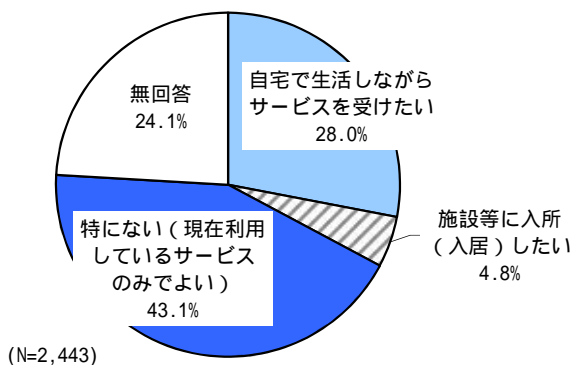


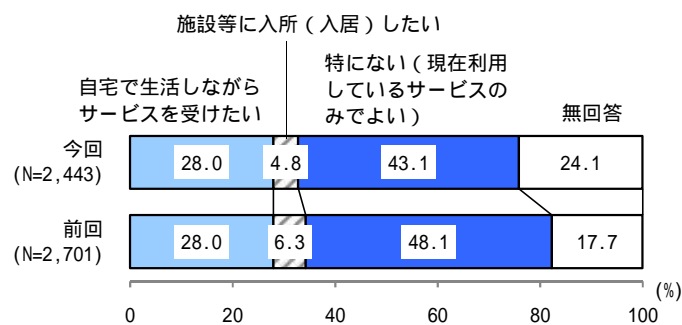
問12 1年以内に利用したい介護保険サービス

あなたが現在利用している介護保険サービスとは別に、1年以内に利用したい介護保険サービスについておたずねします。( はひとつ)

【図12 1年以内に利用したい介護保険サービス】



【図12-1 1年以内に利用したい介護保険サービス (比較)】

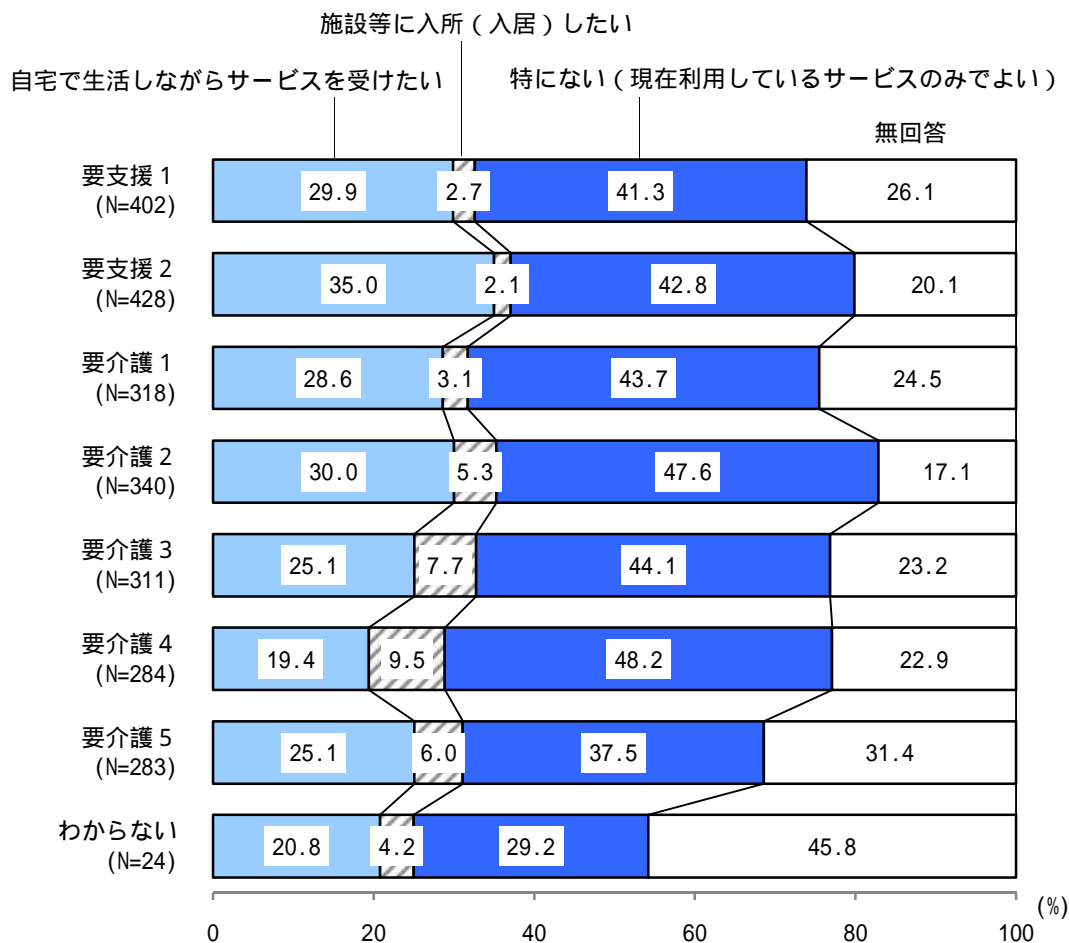


1年以内に利用したい介護保険サービスについては、「特にない(現在利用しているサービスのみでよい)」が43.1%で最も多く、次いで「自宅で生活しながらサービスを受けたい」が28.0%、「施設等に入所(入居)したい」は4.8%となっている。(図12)

前回調査と比較すると、「自宅で生活しながらサービスを受けたい」に変化はなく、無回答の比率の増加に伴い、「施設に入所(入居)したい」は1.5ポイントの減少、「特にない(現在利用しているサービスのみでよい)」も5.0ポイント減少している。(図12-1)

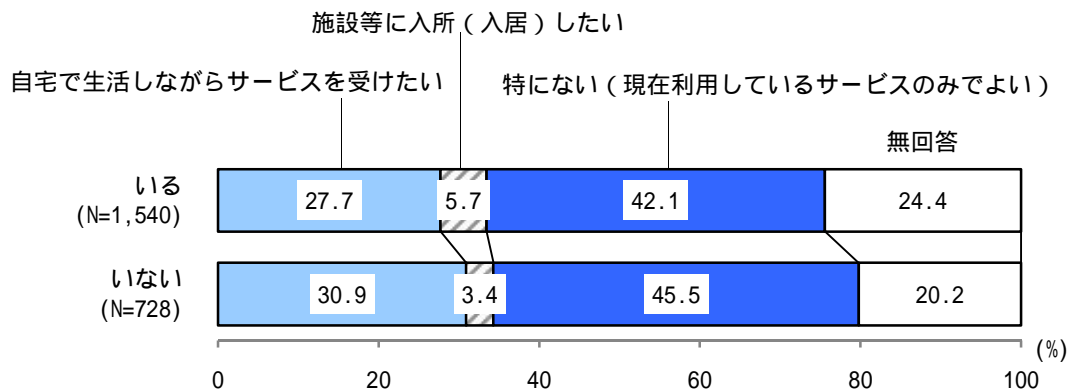
要介護度別で見ると、要介護度に関わらず、「特にない(現在利用しているサービスのみでよい)」が最も多くなっている。なお、「自宅で生活しながらサービスを受けたい」は要支援2(35.0%)が、「施設等に入所(入居)したい」では要介護4(9.5%)が、それぞれ他の要介護度に比べ高くなっている。(図12-a)

【図12-a 1年以内に利用したい介護保険サービス(要介護度別)】



介護する人の有無別で見ると、いる・いないに関わらず、「特にない(現在利用しているサービスのみでよい)」が4割台で最も多くなっている。なお、「自宅で生活しながらサービスを受けたい」は、介護者がいる人に比べ、いない人のほうが3.2ポイント高くなっている。一方、「施設等に入所(入居)したい」では、介護者がいない人に比べ、いる人のほうが2.3ポイント高くなっている。(図12-b)

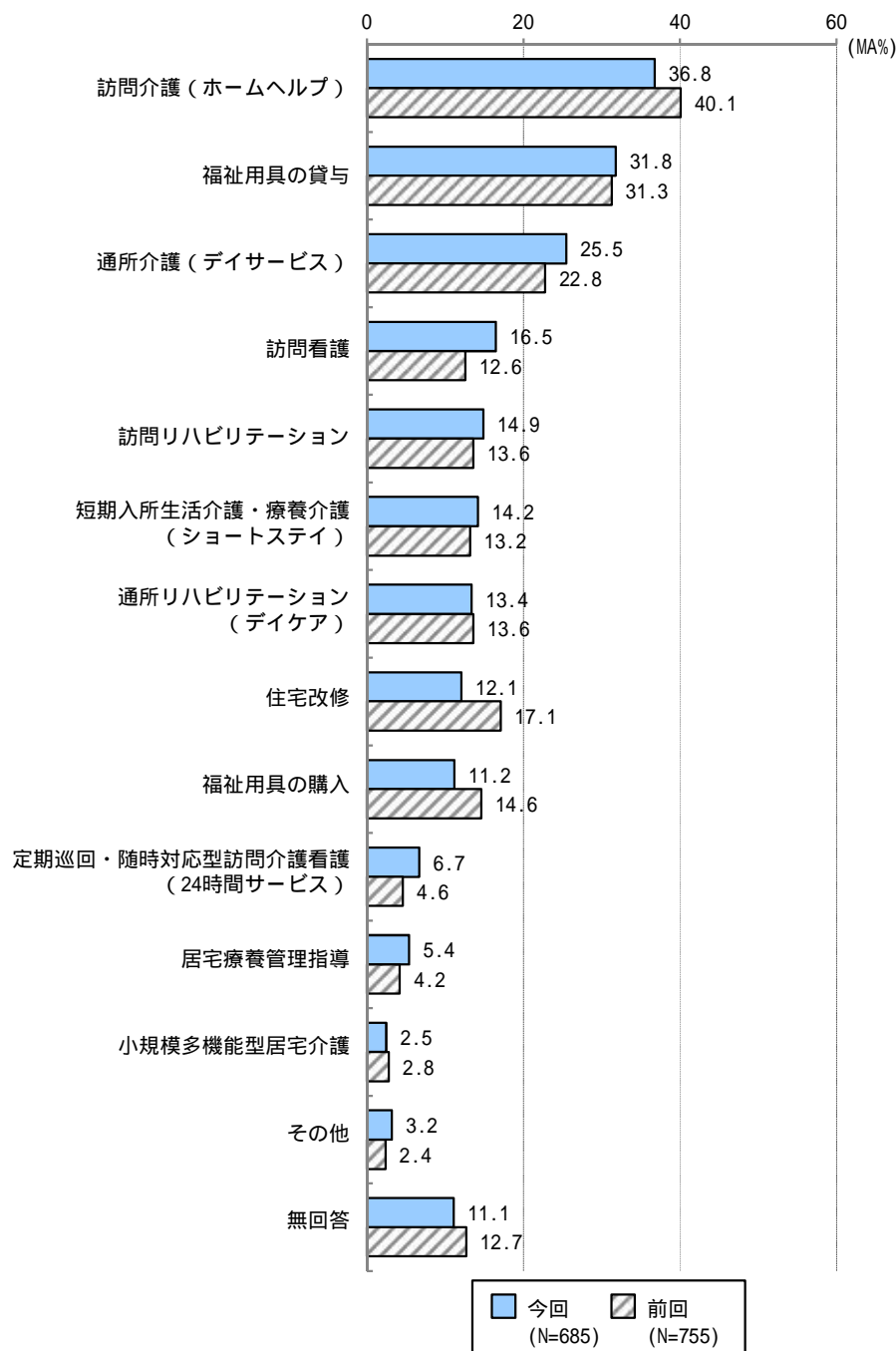
【図12-b 1年以内に利用したい介護保険サービス(介護する人の有無別)】



問12-1 1年以内に利用したい在宅の介護保険サービス

【問12で「1 自宅で生活しながらサービスを受けたい」に つけた方のみお答えください。】  
 あなたが現在利用している介護保険サービスとは別に、1年以内に利用したい介護保険サービスについて、あてはまる番号すべてに つけてください。( はいいくつでも)

【図12-1 1年以内に利用したい在宅の介護保険サービス(比較)】

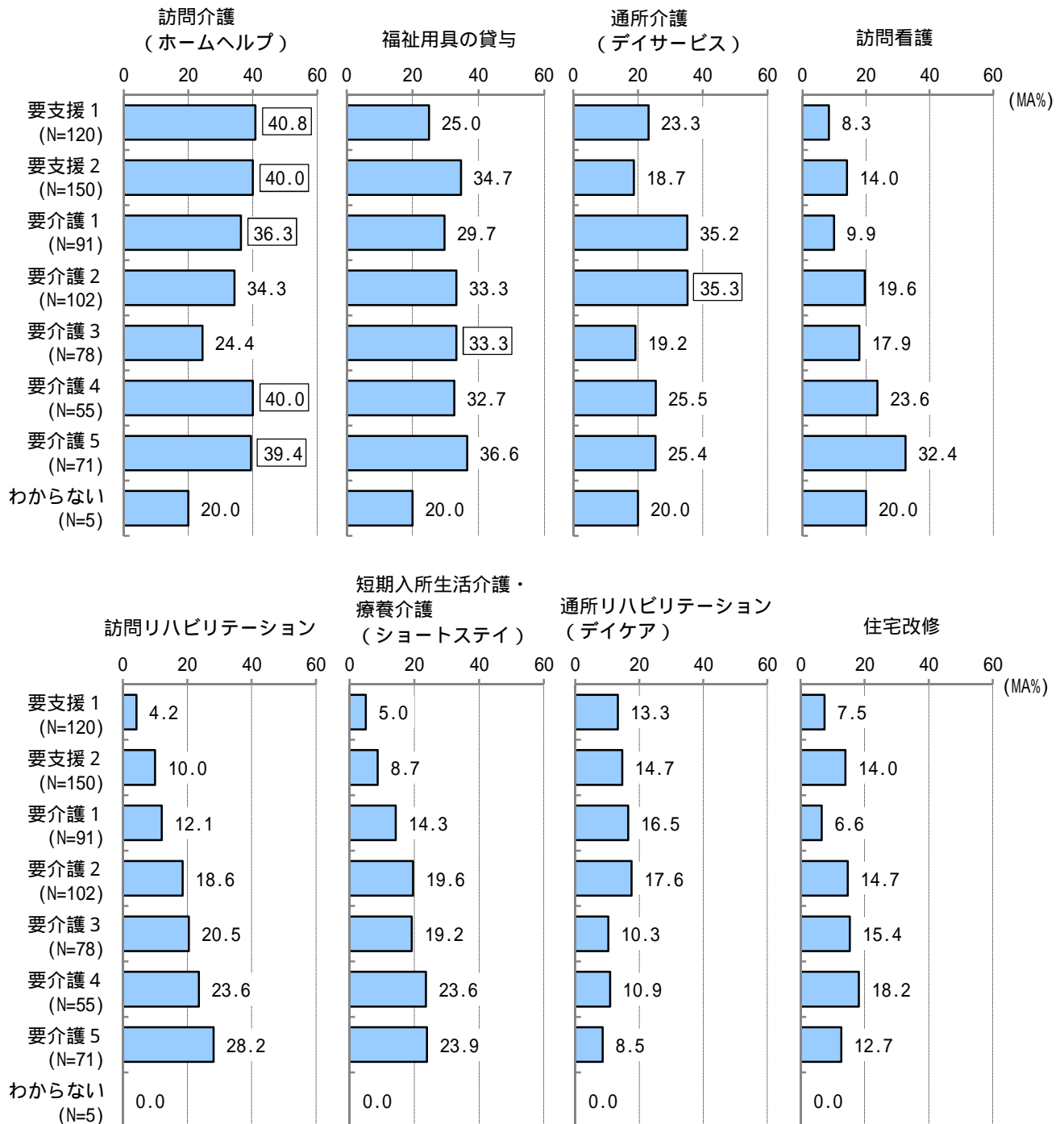


自宅で生活しながらサービスを受けたい人が1年以内に利用したい在宅の介護保険サービスについては、「訪問介護(ホームヘルプ)」が36.8%で最も多く、次いで「福祉用具の貸与」が31.8%、「通所介護(デイサービス)」が25.5%となっている。

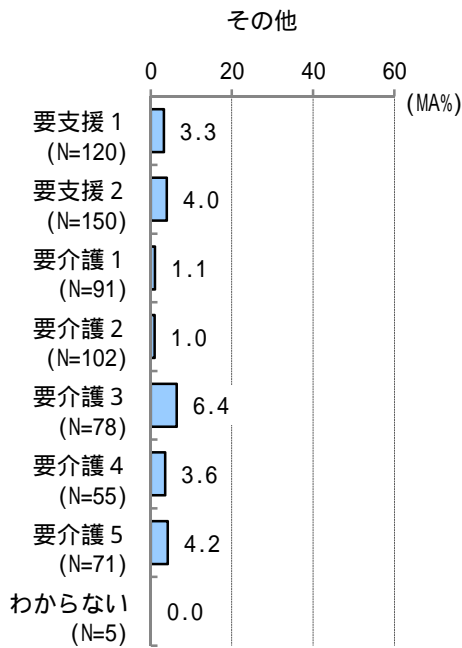
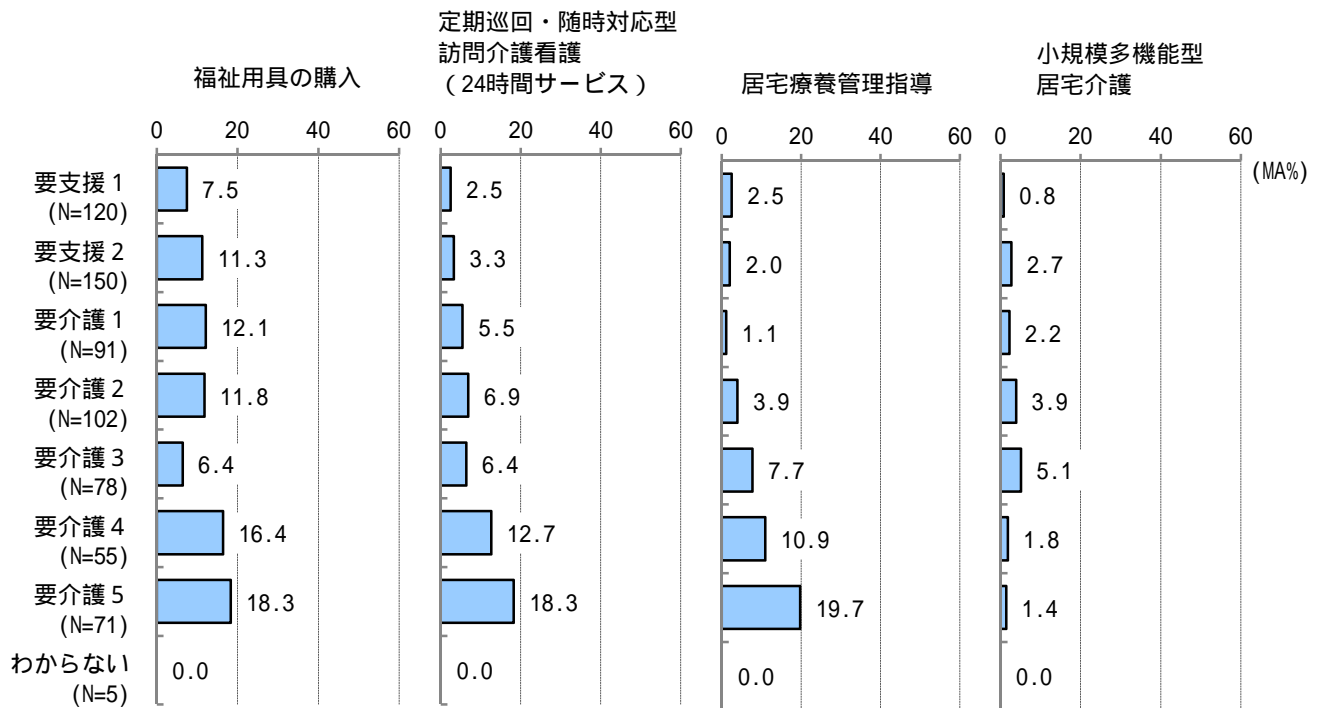
前回調査と比較すると、「訪問介護(ホームヘルプ)」は3.3ポイント減少、「住宅改修」は5.0ポイント減少、「福祉用具の購入」は3.4ポイント減少となっている。一方、「通所介護(デイサービス)」が2.7ポイント増加、「訪問看護」が3.9ポイント増加している。(図12-1)

要介護度別で見ると、要介護2は「通所介護(デイサービス)」が、要介護3は「福祉用具の貸与」が、その他の要介護度は「訪問介護(ホームヘルプ)」が、それぞれ最も多くなっている。要介護度が高くなるほど、「訪問看護」や「訪問リハビリテーション」、「短期入所生活介護・療養介護(ショートステイ)」、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護(24時間サービス)」、「居宅療養管理指導」の各割合が上昇傾向にある。また、「通所介護(デイサービス)」は要介護1・2が他の要介護度に比べ高くなっている。(図12-1-a)

【図12-1-a 1年以内に利用したい在宅の介護保険サービス(要介護度別)】



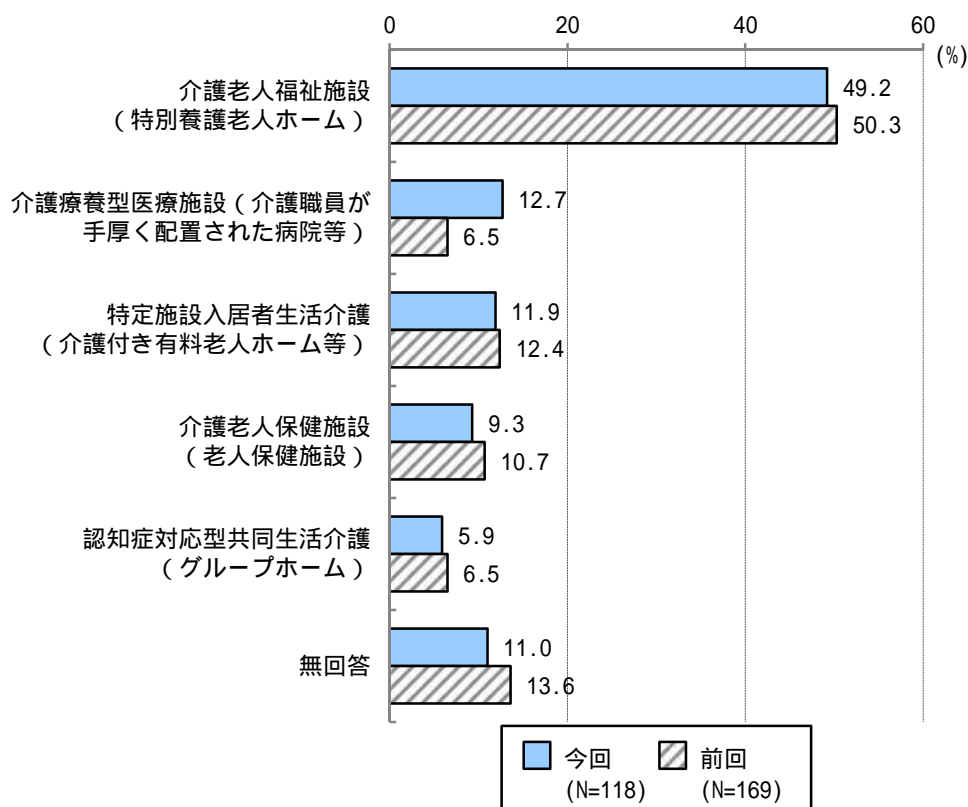
【図12-1-a 1年以内に利用したい在宅の介護保険サービス（要介護度別）】



問12-2 1年以内に利用したい施設の介護保険サービス

【問12で「2 施設等に入所（入居）したい」に つけた方のみお答えください。】  
 あなたが現在利用している介護保険サービスとは別に、1年以内に利用したい介護保険サービスについて、あてはまる番号に つけてください。（ はひとつ）

【図12-2 1年以内に利用したい施設の介護保険サービス（比較）】

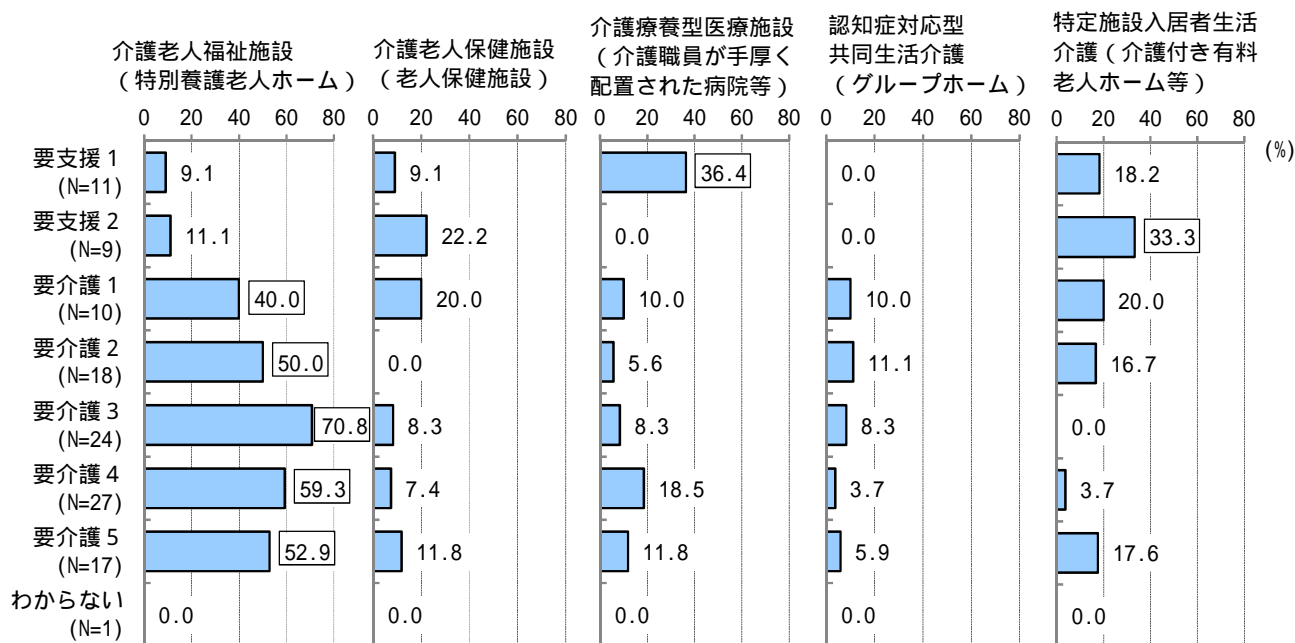


施設に入所・入居したい人が、1年以内に利用したい施設の介護保険サービスについては、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が49.2%で最も多く、次いで「介護療養型医療施設（介護職員が手厚く配置された病院等）」が12.7%、「特定施設入居者生活介護（介護付き有料老人ホーム等）」が11.9%となっている。

前回調査と比較すると、「介護療養型医療施設（介護職員が手厚く配置された病院等）」が6.2ポイント増加している。（図12-2）

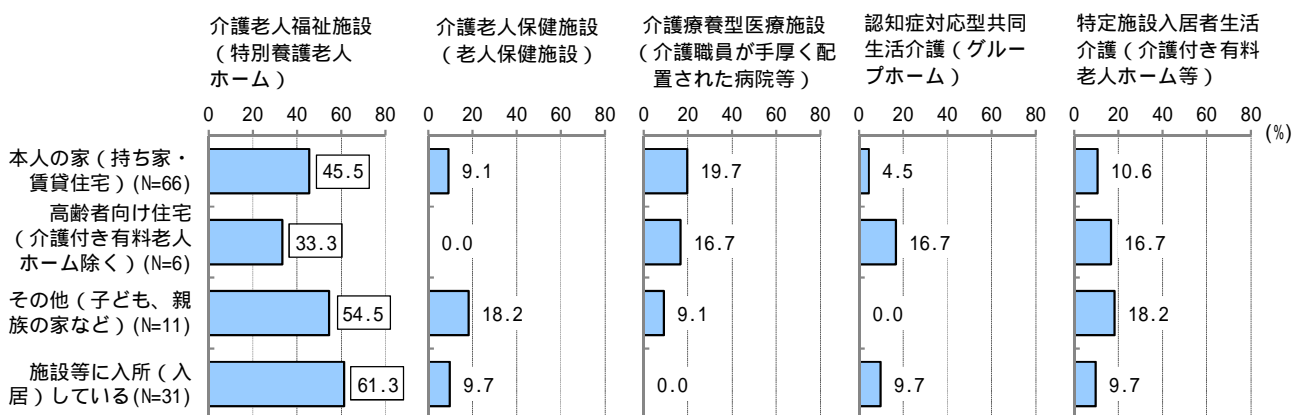
要介護度別で見ると、要支援1は「介護療養型医療施設」が、要支援2は「特定施設入居者生活介護（介護付き有料老人ホーム等）」が、それぞれ最も多くなっている。要介護1～5では「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が最も多く、なかでも要介護3は70.8%と他の要介護度に比べ高くなっている。（図12-2-a）

【図12-2-a 1年以内に利用したい施設の介護保険サービス（要介護度別）】



現在の住まい別で見ると、いずれも「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が最も多く、3割以上を占めている。（図12-2-b）

【図12-2-b 1年以内に利用したい施設の介護保険サービス（現在の住まい別）】



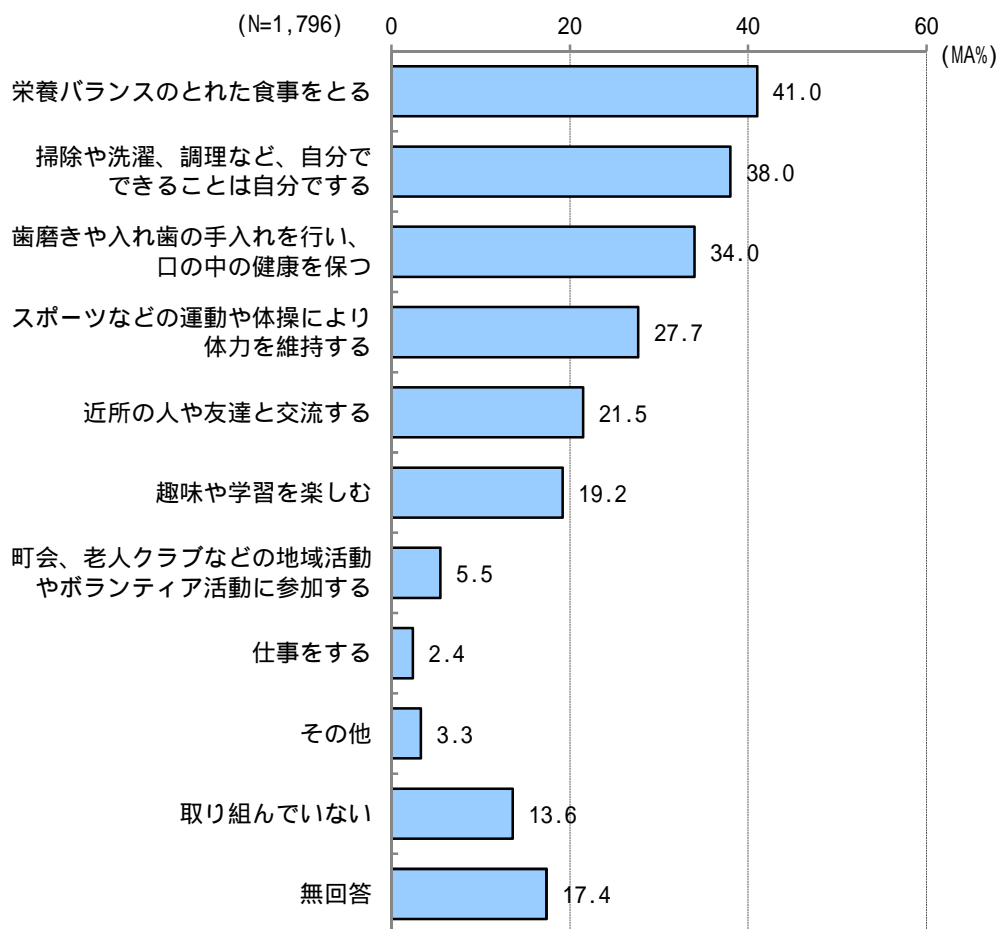
## (5) 介護予防の取り組み

### 問13 介護予防としての取り組み

【ご自宅で介護保険サービスをご利用されている方のみお答えください。】

あなたが、介護予防として、今取り組んでいること、または、今後取り組んでみたいことは何ですか。(はいくつでも)

【図13 介護予防としての取り組み】

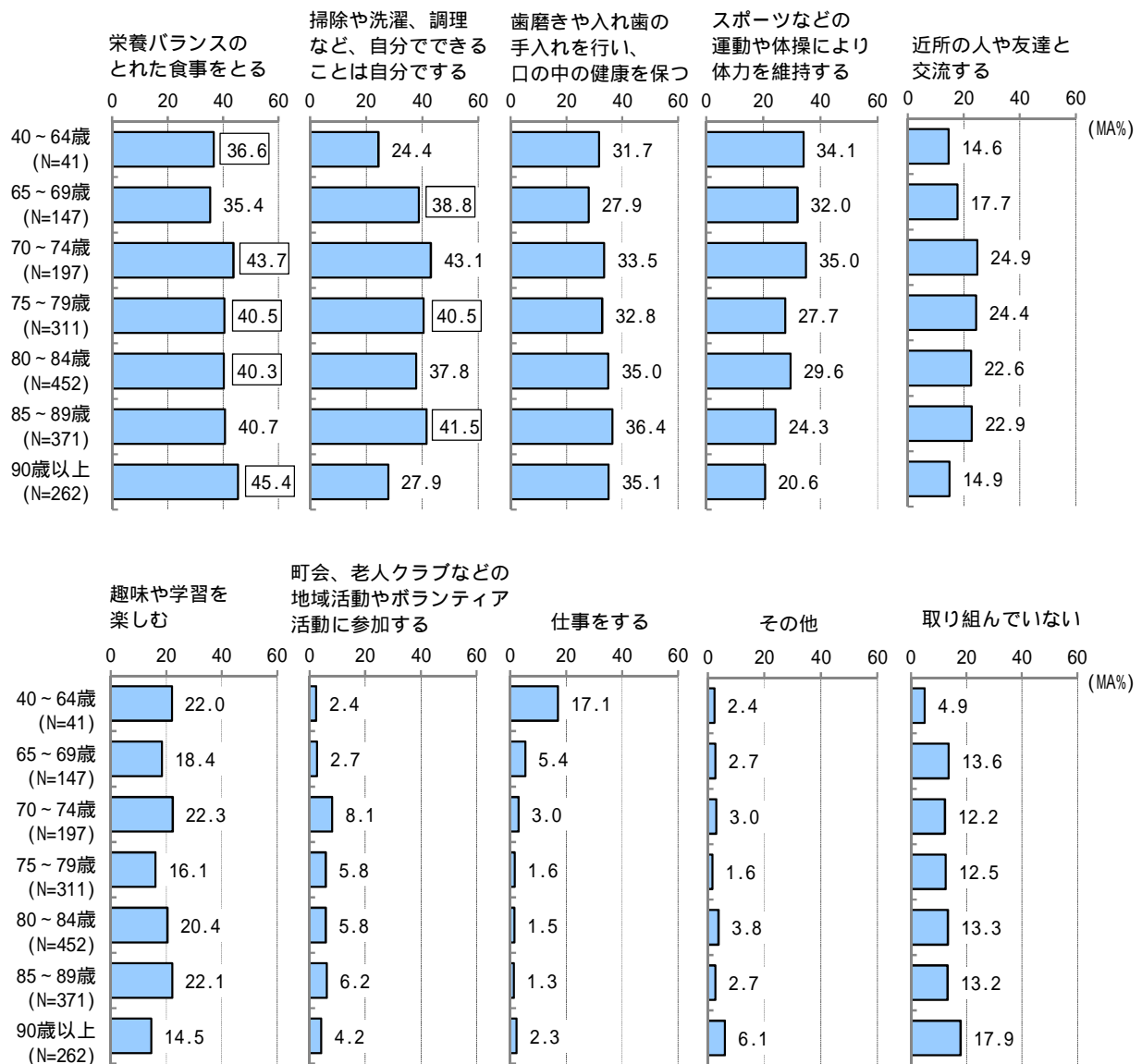


自宅で介護保険サービスを利用している人が行っている介護予防の取り組みについては、「栄養バランスのとれた食事をとる」が41.0%で最も多く、次いで「掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分です」が38.0%、「歯磨きや入れ歯の手入れを行い、口の中の健康を保つ」が34.0%となっている。(図13)



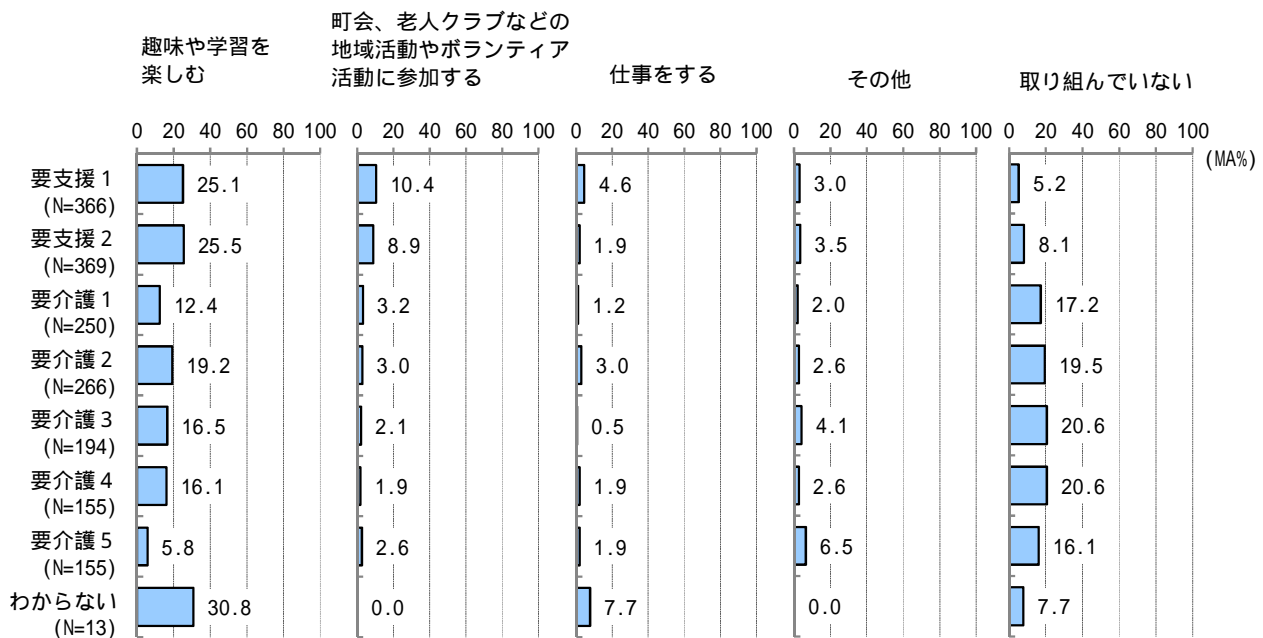
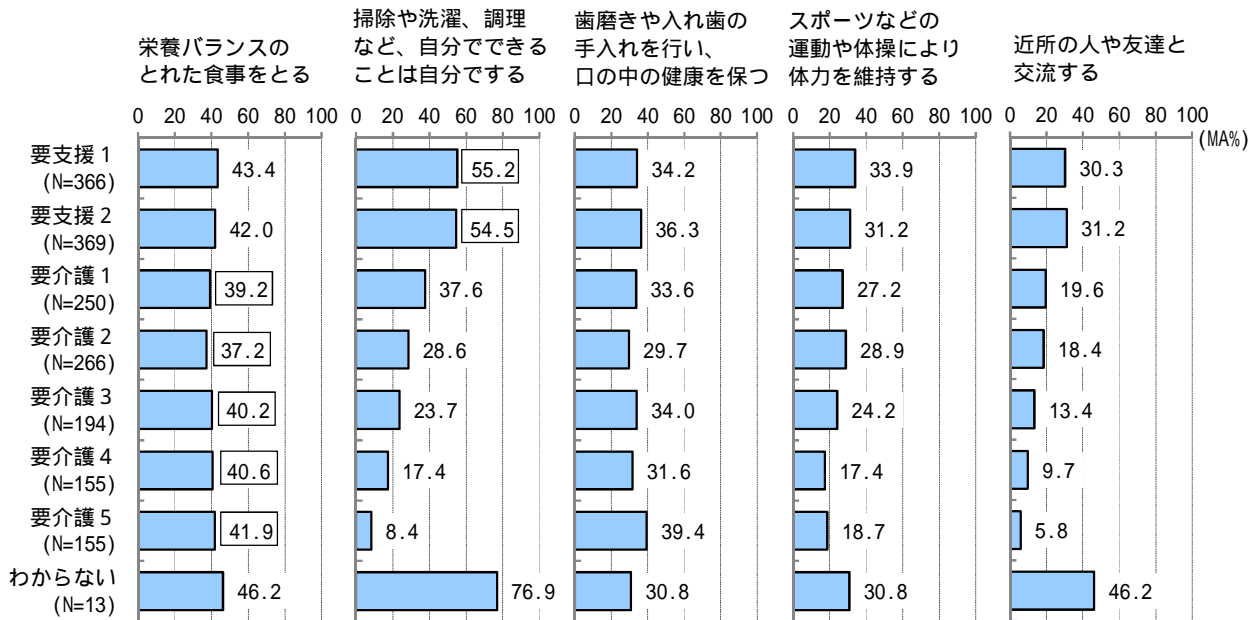
年齢別で見ると、40～64歳・70～74歳・80～84歳・90歳以上は「栄養バランスのとれた食事をとる」が、65～69歳と85～89歳は「掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする」が、それぞれ最も多く、75～79歳ではそれら両項目とも同率で最も多くなっている。また、40～64歳は「仕事をする」が17.1%で他の年齢に比べ高くなっている。「スポーツなどの運動や体操により体力を維持する」は高齢になるほど低下傾向にある。「近所の人や友達と交流する」では70歳代・80歳代が2割台に対し、90歳以上になると14.9%に低下している。  
(図13-a)

【図13-a 介護予防としての取り組み（年齢別）】



要介護度別で見ると、要支援1・2は「掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする」が5割台で最も多くなっており、要介護1～5では「栄養バランスのとれた食事をとる」が4割前後で最も多くなっている。しかし、要介護度が高くなるほど、「掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする」や「スポーツなどの運動や体操により体力を維持する」、「近所の人や友達と交流する」が低下している。(図13-b)

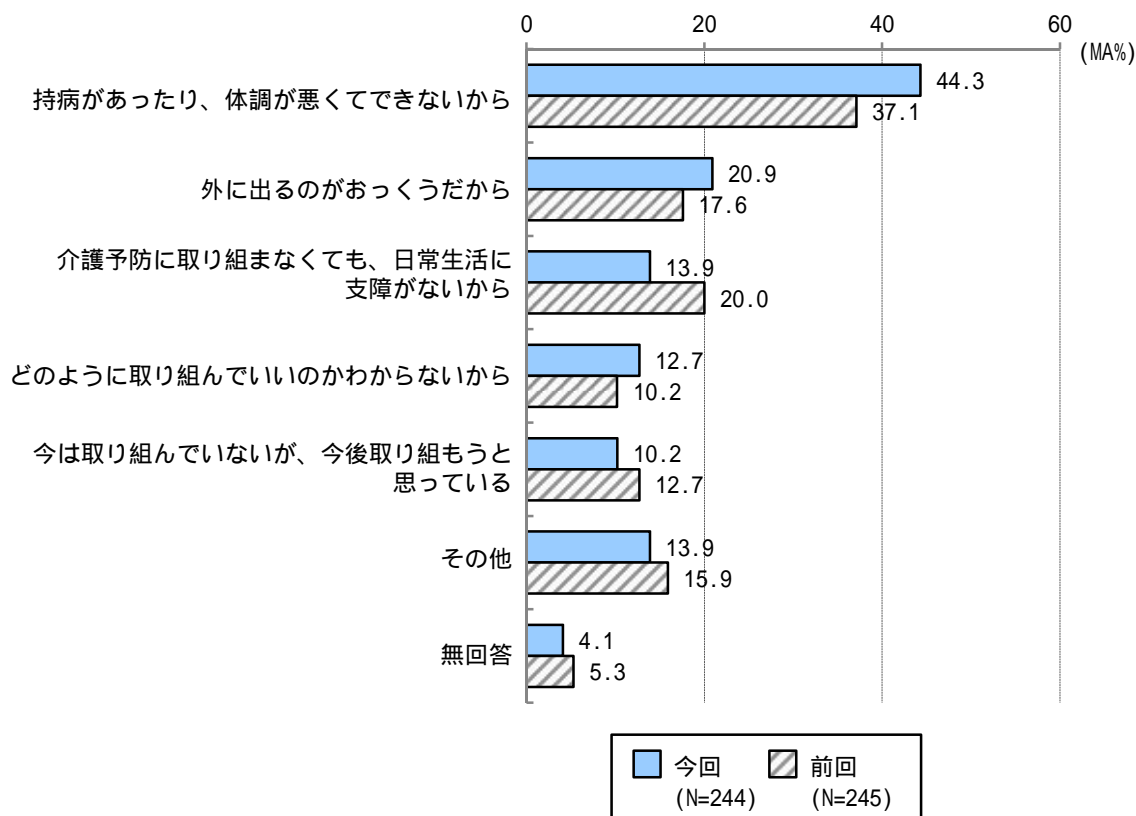
【図13-b 介護予防としての取り組み(要介護度別)】



問13-1 介護予防に取り組んでいない理由

【問13で「10 取り組んでいない」に つけた方のみお答えください。】  
 あなたが、介護予防について、取り組んでいない理由は何ですか。( はいくつでも )

【図13-1 介護予防に取り組んでいない理由】



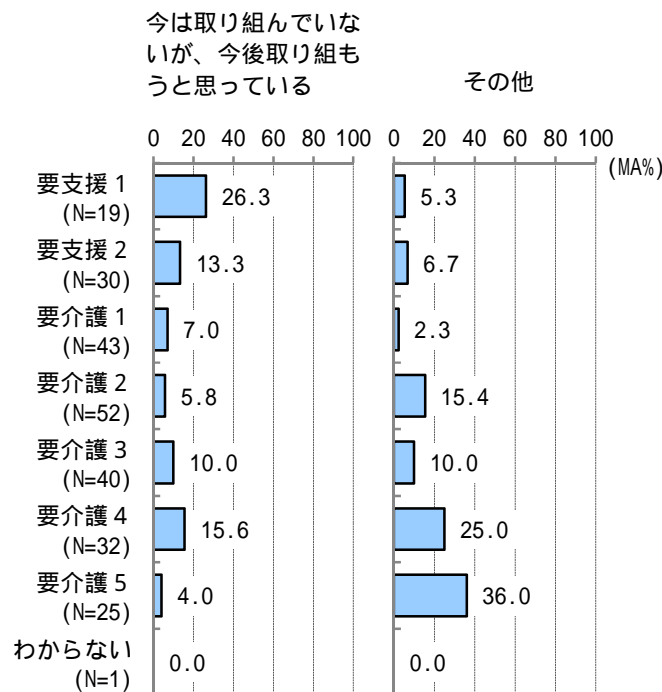
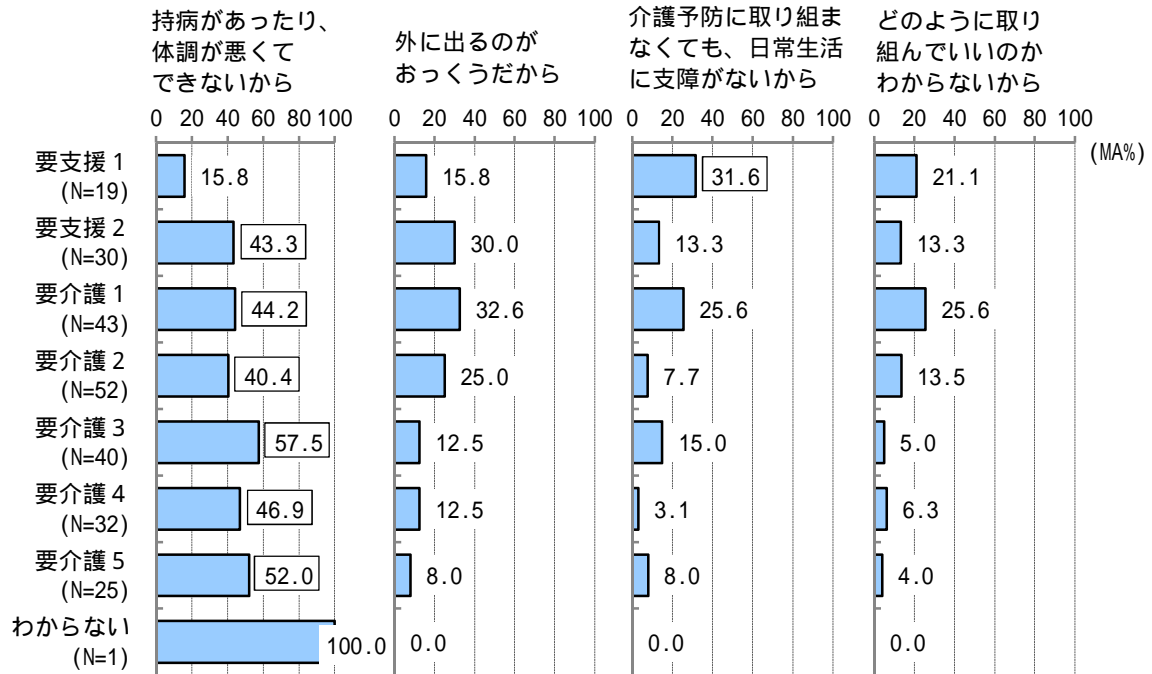
介護予防に取り組んでいない理由については、「持病があったり、体調が悪くてできないから」が44.3%で最も多く、次いで「外に出るのがおっくうだから」が20.9%、「介護予防に取り組まなくても、日常生活に支障がないから」が13.9%となっている。

なお、「その他」として、「高齢・重度介護のため寝たきり、動けない」などがあつた。

前回調査と比較すると、「持病があったり、体調が悪くてできないから」が7.2ポイント増加し、「介護予防に取り組まなくても、日常生活に支障がないから」が6.1ポイント減少している。(図13-1)

要介護度別で見ると、要支援1は「介護予防に取り組まなくても、日常生活に支障がないから」が最も多く、要支援2と要介護1～5では「持病があったり、体調が悪くてできないから」が最も多くなっている。また、「外に出るのがおっくうだから」は、要支援2と要介護1が3割台で他の要介護度に比べ高くなっている。(図13-1-a)

【図13-1-a 介護予防に取り組んでいない理由(要介護度別)】



## ( 6 ) 介護保険制度についての意見・要望等 ( 自由記述 )

介護保険制度についてのご意見・ご要望等を次の欄に記入してください。

### 【介護保険制度について】

- ・制度が複雑で理解しづらい。将来的に高齢者が増加してもサービスを気軽に利用できるようにしてほしい。
- ・とにかくわかりにくい。窓口もどこかわからない。手続きも面倒。
- ・介護保険料、利用料が高い。
- ・サービス利用料が高いので利用をためらう。

### 【介護保険サービスについて】

- ・サービスの一覧表が欲しい。
- ・使いたいサービスがみんな一緒に受けられない。一人で生活出来なくなった時の受け皿が欲しい。
- ・特別養護老人ホームに入所することを希望しているが、待っている方が多いとのことなので不安。
- ・毎月の年金で入所出来る介護老人福祉施設を多くつくってほしい。
- ・今現在は老々介護で何とか凌いでいるが、重度の介護が必要となった時に入れる施設を充実させてほしい。
- ・同じサービスでも会社によって全然違う。
- ・事業所への監督指導をしっかりしてほしい。
- ・介護スタッフに日常会話などのコミュニケーションが無く事務的。
- ・介護職の方の待遇改善が必要。施設があっても人手不足で困っている。また忙しすぎて介護職の方がいらいらして、しんどそう。
- ・介護スタッフが重労働にならないよう、また介護スタッフの身分、生活が充分保障されるようにしてほしい。

### 【その他】

- ・介護・医療の窓口の一本化(ワンストップ化)。行政の部署に設ける組織の在り方は縦割りにならざるを得ない部分もやむを得ないが、利用者及び家族は身一つ。なるべく利便性の向上にも目を向けて頂きたい。
- ・今後増加する要介護者の事を考えると、気軽に優しく丁寧に制度や施設の情報を提示して頂ける行政の担当者を増やしてほしい。
- ・「ホームページを見てください」だけでは、さっぱり理解できない。もっと利用できる方法のPRに努めてほしい。
- ・年金生活をしているので年金の範囲内でサービスを利用したいと思っているが、悪くなった時どうしていいかわからない。夫婦も介護を受けているのでしんどい。子どもがいないので先行き不安。
- ・介護してくれる妻の具合が悪くなったらどうしようかと思う。

# 介護サービス未利用者調査 編



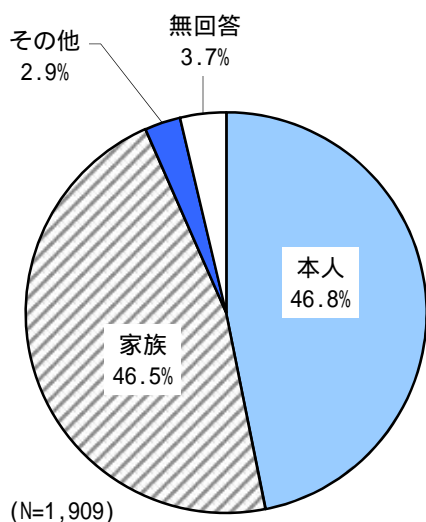
### 3 サービス未利用者調査結果

#### (1) 調査回答者の基本属性

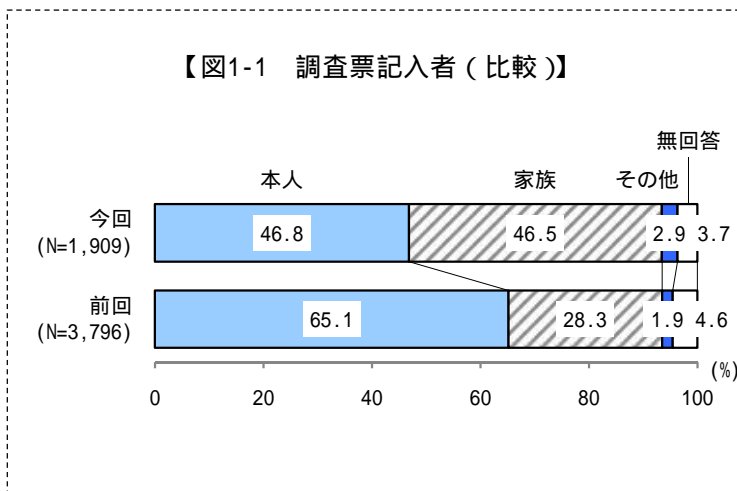
##### 問1 調査票記入者

この調査票をご記入されるのはどなたですか。( はひとつ)

【図1 調査票記入者】



【図1-1 調査票記入者(比較)】



調査票記入者は、「本人」が46.8%、「家族」が46.5%となっている。(図1)

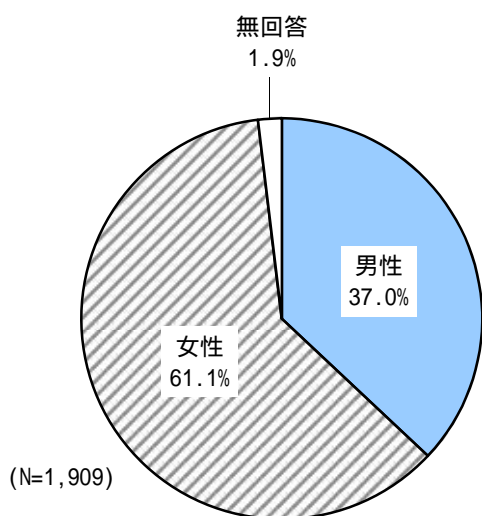
前回調査と比較すると、「本人」が18.3ポイント減少し、「家族」が18.2ポイント増加している。(図1-1)



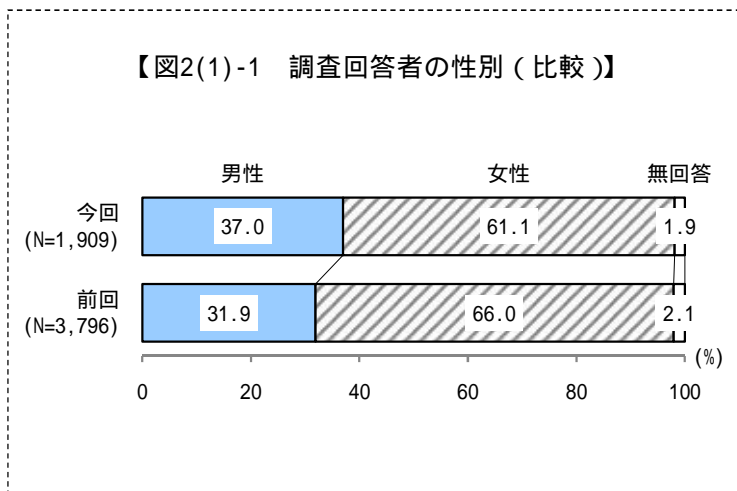
## 問2 (1) 性別

あなたの性別、年齢、居住区についておたずねします。(それぞれ はひとつ)

【図2(1) 調査回答者の性別】



【図2(1)-1 調査回答者の性別 (比較)】

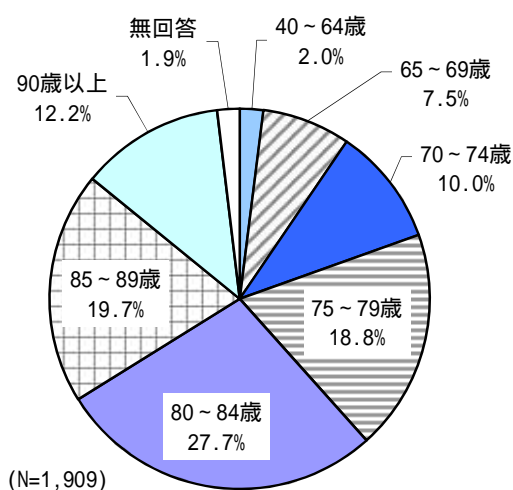


調査回答者の性別は、「男性」が37.0%、「女性」は61.1%で、女性のほうが多くなっている。(図2(1))

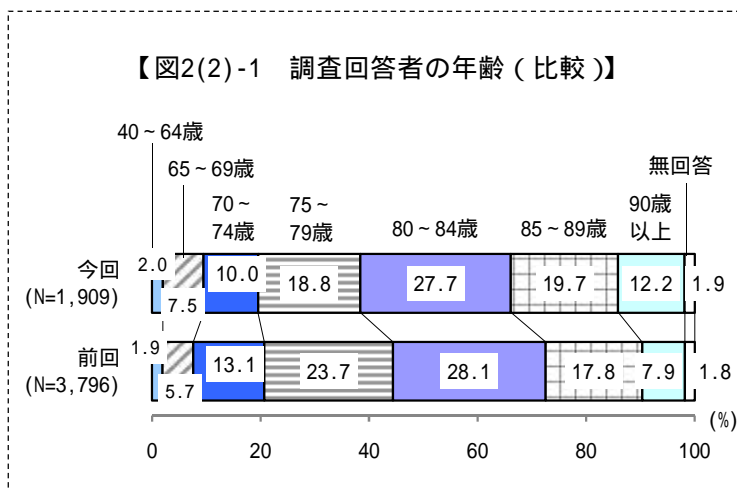
前回調査と比較すると、「男性」が5.1ポイント増加し、「女性」が4.9ポイント減少している。(図2(1)-1)

## 問2 (2) 年齢

【図2(2) 調査回答者の年齢】



【図2(2)-1 調査回答者の年齢 (比較)】

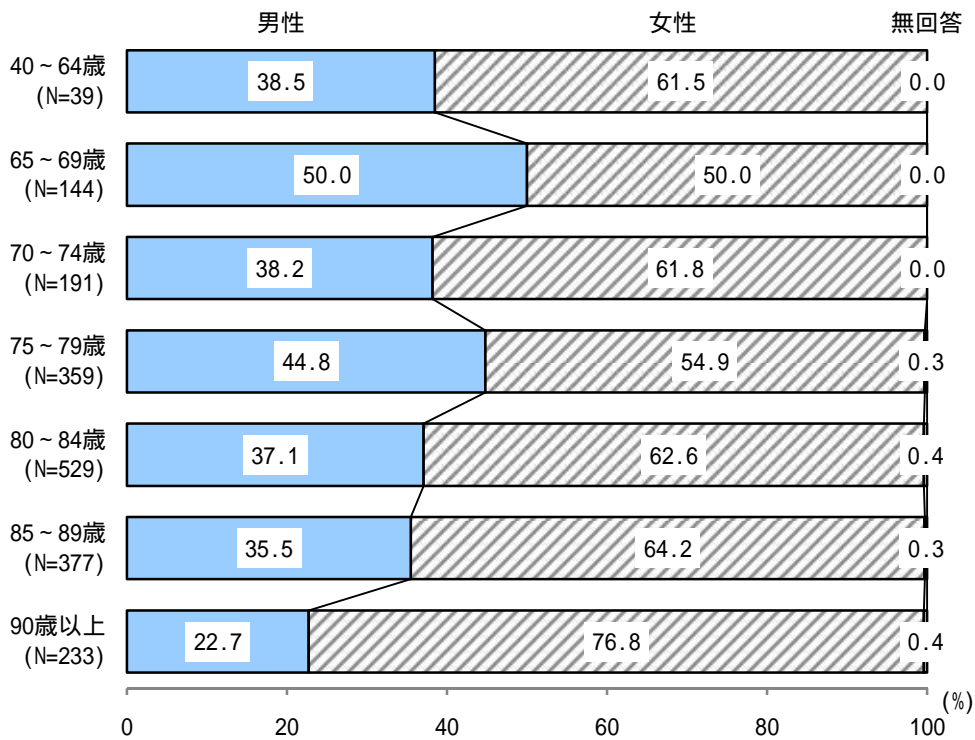


調査回答者の年齢は、「80~84歳」が27.7%で最も多く、次いで「85~89歳」が19.7%、「75~79歳」が18.8%となっており、75歳以上の後期高齢者の割合は78.4%と高くなっている。(図2(2))

前回調査と比較すると、「75~79歳」が4.9ポイント減少し、「90歳以上」が4.3ポイント増加している。(図2(2)-1)

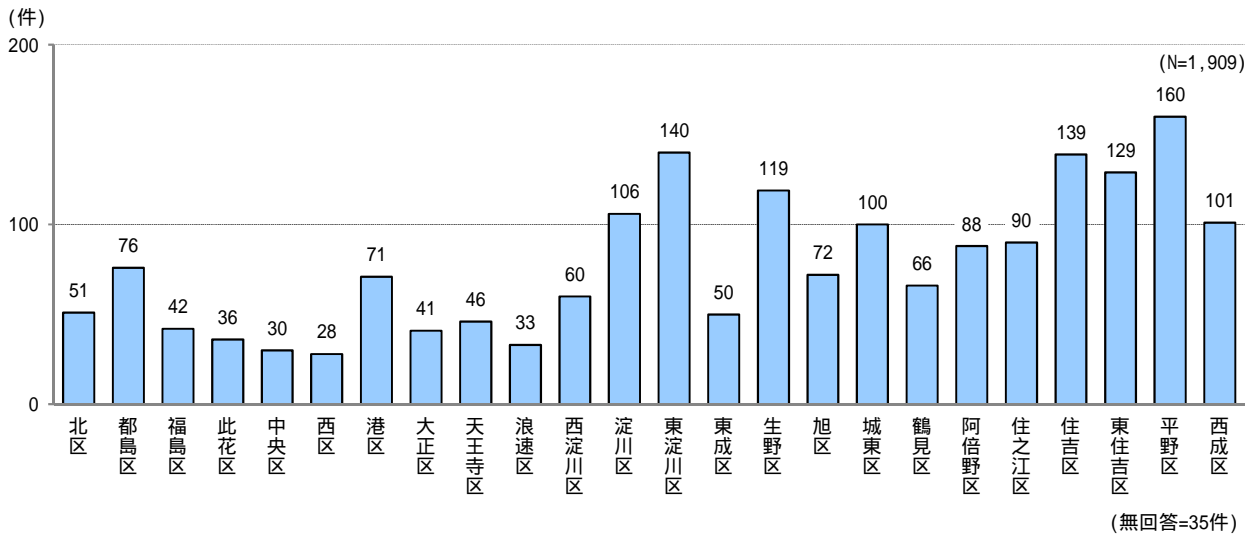
調査回答者の性別でみると、65～69歳は男女とも50.0%となっているが、他の年齢は“女性”のほうが多くなっている。(図2(2)-a)

【図2(2)-a 調査回答者の年齢(調査回答者の性別)】



問2 (3) 居住区

【図2(3) 居住区】

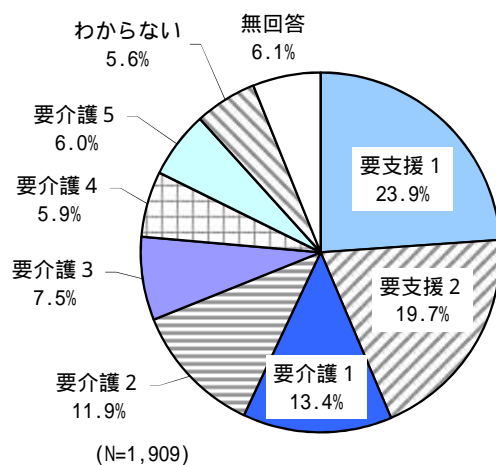


調査回答数について、「平野区」が160件で最も多く、次いで「東淀川区」が140件、「住吉区」が139件となっている。(図2(3))

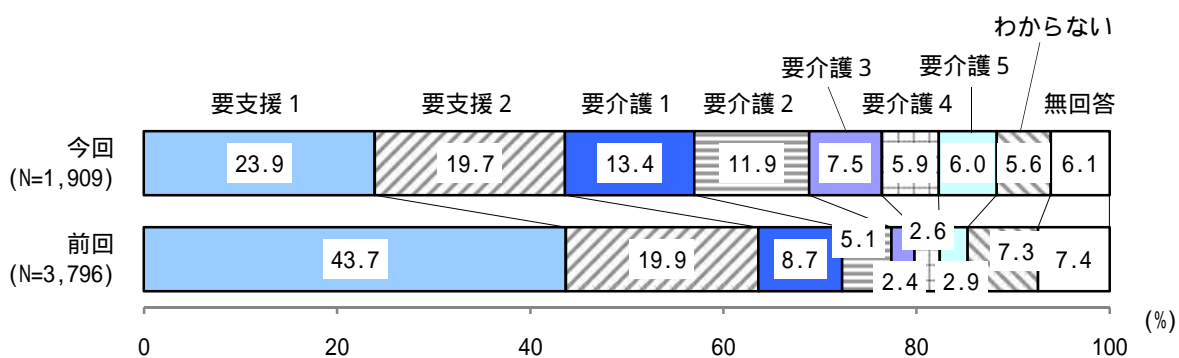
### 問3 要介護度

あなたの要介護度についておたずねします。( はひとつ)

【図3 調査回答者の要介護度】



【図3-1 調査回答者の要介護度（比較）】



調査回答者の要介護度は、「要支援1」が23.9%で最も多く、次いで「要支援2」が19.7%、「要介護1」が13.4%となっている。(図3)

前回調査と比較すると、「要支援1」が19.8ポイント減少している。(図3-1)